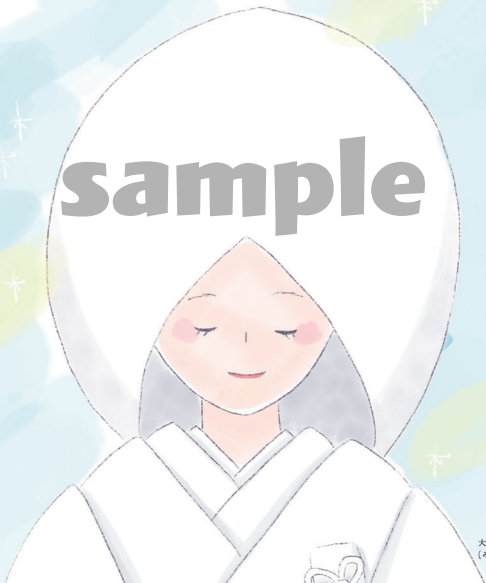


わたしのけっこんし

作 服部 涼子
絵 Haiji

sample



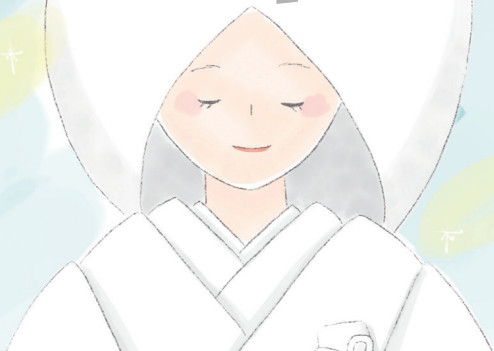
sample

わたしのけっこんしよ

作 服部 涼子

絵 Haiji

sample



桜が満開の季節。6月に結婚式を挙げるため、
私は京都の歴史ある神社にきていました。
京都の宇治で育った私と滋賀県で育った彼。
大学時代に出会ったこの京都で結婚式を挙げようと
二人で決めました。



sample





京都で育ちながらも神社に行く機会が少なく、
幼い頃からドレスでの結婚式に憧れがありました。
しかし大人になってから、仕事で神社の神職さんや
巫女さんとお話する機会があり、
神職さんや巫女さんの神前式への想いに触れると、
自然と神社で式を挙げたい気持ちが膨らんでいきました。

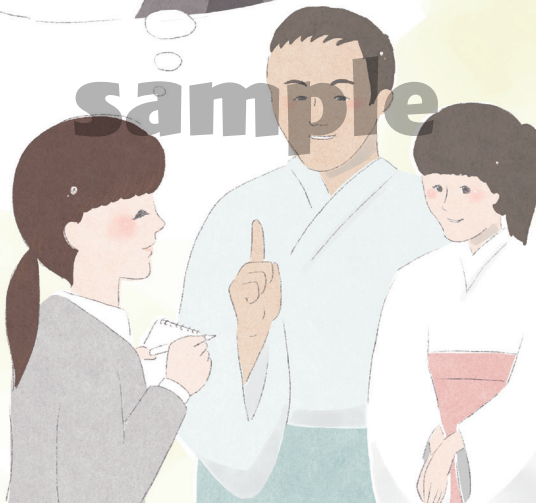


sample





sample



5月下旬、挙式まで残り2週間くらいになり、
毎日てるてる坊主を作っては、
当日は晴れますようにと窓辺に吊っていました。

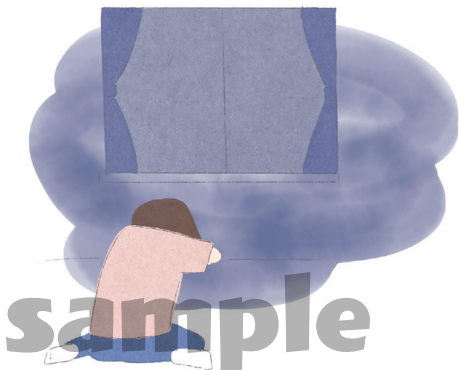
同時にこの頃、私は結婚に対して
言葉にはできない不安を抱えるようになりました。

結婚式、そのあとすぐに新居での生活、入院している父のこと…。
一緒に住んでいた母とぶつかる夜もありました。



sample





結婚式の2日前、とうとう母と大喧嘩になりました。

この家に母と住むのもあと2日だというのに。

思ってもないひどい言葉を母に投げつけ、

一方的にぶつかってしまいました。

もう嫌だ、この家も、この家族も、結婚式ももう嫌だ。

私の心はぐちゃぐちゃになり、部屋に戻って泣いていました。

ためしよみ

は

ここまでです